



東京教区災害対応チーム 災害情報・九州地震

九州 011

(表記の変更:「熊本地震」について、本紙面では九州教区での呼称にならい 007 号以降「九州地震」と記します)

【九州教区・九州地震被災者支援室から第七信】

～発生から 8 か月、“避難所施設”は無くされたものの“避難生活”続く被災地の実態～

九州教区・九州地震被災者支援室からの情報をお伝えします。

「だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができましょう。

艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。」ロマ 8:35

＝＝

九州教区・九州地震被災者支援室より第 7 信 支援活動～被災者を「孤立させない」ため～の取り組みについて

＝＝

+ 主の御降誕をお祝い申し上げます。

まもなく九州地震の発生から 8 ヶ月。皆さまの祈りとご支援に心より感謝申し上げます。

1 1 月 1 8 日に西原村の最後の避難所が閉鎖され、熊本県内の避難所数は 0 に。しかしこれは決して避難者数が 0 となったことを意味しません。避難所と呼ばれる場所は無くされたものの仮設住宅やコンテナハウス、壊れた納屋を改造し暮らす人、さらにはビニールハウスで生活を続ける避難者がおられます。とくに他地域から初めて支援活動に参加した人たちは、そんな被災地の実態に触れ、一様に驚きを隠せません。

時間の経過とともに多くの支援団体が活動を縮小し、また撤退していく現実があります。私たちも同様に活動の継続に困難を感じておりますが、他方ではまだまだ多種多様な支援の必要を痛感させられます。大切なのは、見えにくくなっている必要をどう見出し接点を作っていけるか、ではないかと感じています。

…ということで、今しばらくは地道に丁寧、出会った被災者に関わり、助け合いの輪を広げていくよう取り組んでまいりたいと思います。

◆引き続き、ボランティア募集中!! です。

- ・まずは登録（各教区事務所^(註)を経由し九州教区事務所へ F A X）をお願いいたします。
- ・現在、毎週水曜日から土曜日までの 4 日間に限定し支援活動を行っています。
(ボランティアセンターへの宿泊は、原則火曜日の夕から土曜日まで可能です。)
- ・活動の様子は、日本聖公会九州教区のウェブサイト内でご覧になれます。
- ・力仕事の作業ばかりでなく「出前カフェ」などを含めた訪問ボランティア、関りある園芸店でのフラワーアレンジメント体験を組み込んだ訪問プログラム、などの可能性もあります。お問い合わせください。

※活動の手配・調整の都合上、ボランティア登録は 1 週間前までにお願いします。

(註) 東京教区災害対応デスク F A X 03-3433-8678

◆年末年始は 1 2 月 3 0 日 (金) から 1 月 3 日 (火) までお休みします。

新年は 1 月 4 日 (水) より活動を開始します。ぜひご参加ください。

「熊本聖三一ボランティアセンター」 〒861-8035 熊本市東区御領一丁目 1 0 - 7 1

連絡先 TEL/FAX 096-384-3202 (熊本聖三一教会)

ご協力よろしくお願いいたします。

2 0 1 6 年 1 2 月 1 3 日

九州教区主教 ルカ 武藤 謙一

九州教区・九州地震被災者支援室 室長 司祭 マルコ 柴本 孝夫